

令和5年度 第2回 広沢小学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和5年6月9日(金)13時30分から15時00分
 - 2 開催場所 広沢小学校 開放教室
 - 3 出席委員 杉浦 友治、山田 谷一、橋本 憲幸、宮本 慶子、平野 圭吾
橋本かずよ、加藤 いずみ
 - 4 欠席委員 川上 玲子、佐々木 知成
 - 5 学校コーディネーター 矢野 貴恵
 - 6 学校 澤田 強志(校長)、谷野 幸代(教頭)、鈴木 俊彰(主幹教諭)
渥美 彰三(CS担当)
 - 7 教育委員会 鈴木 陽子(教育総務課)
 - 8 協議事項
- (1)議長の選出について
 - (2)「広沢小学校いじめ防止基本方針」について
 - (3)地域見守り隊の取り組みについて
 - (4)学校評価アンケートについて
- 9 会議録作成者 主幹教諭 鈴木 俊彰
 - 10 会議記録

司会の谷野から、委員総数9人のうち 7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、杉浦会長から加藤委員を議長に推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 「広沢小学校いじめ防止基本方針」について

議長の指示により、いじめ対策コーディネーターの渥美から「広沢小学校いじめ防止基本方針」の説明があり、委員から、以下の発言があった。

○子供は挨拶をしてくれたり、上級生が下級生の面倒を見たりしている姿が見られる。よい学校だと思う。いじめはないのではないか。(杉浦会長)

・挨拶を進んでしたり、相手のことを思いやったりする子供も多くいるが、人との関わりで、心配や不安に感じている子供もいる。良好な対人関係を築くことができず、そのことがいじめの原因になってしまうこともある。ランドデザインにもあるように、令和5年度は、人との関わりを大切にしていきたい。

・今は、一人っ子の方が多いと思うので、家で人との関わりが希薄な分、学校は多くの友達と関わるができるという意味では、子供たちにとって楽しい場

所になるはず。子供一人一人が、楽しいと思うことができるような手立てを考える必要がある。(平野委員)

・「～さんグループの子たちが、自分のことをどう思っているのか」と不安に感じる子供もいると思う。特に高学年になって友達との関わりがうまくできなくて、悩んでしまう。相談できる人がいなくて、友達との関係を築くことができず、いじめのきっかけにつながってしまうケースもあるのではないか。(加藤委員)

○校内いじめ対策委員のメンバーはどのような構成になっているのか。また、どのようにいじめを認知しているのか。(山田委員)

・いじめ対策委員のメンバーについては、「浜松市立広沢小学校いじめ防止基本方針」P5を参照していただきたい。いじめの認知については、子供が親または友達に相談したことがきっかけとなる場合や定期的に行っている学校アンケートがきっかけとなる場合がある。いじめと疑われる事案が発生した場合は、随時校内いじめ対策委員会を開き、対応している。

○いじめられた側の感覚がすべて。1回の失敗が心の傷になってしまいう傾向にあるので、該当する子供へのコミュニケーションが難しくなる。道徳的見地から、子供たちに考えさせることも大切なのでは。(橋本憲幸委員)

○構成委員を職員の中から公募してみてもは。20～30代の先生方は、いじめが身近にあった可能性が十分あるので、その人たちの意見が反映されればよくなるのでは。(橋本憲幸委員)

○学校の先生や親に見せている表面上の自分と本当の自分が異なっている子供がいて、苦しんでいるかもしれない。そのこのことも踏まえて親身になって考えてくれる大人がいれば、いじめは起きないのでは。みんなで知恵を出し合っ、みんなで軌道修正するというスタンスで「校内いじめ対策委員会」を行っていく必要がある。放課後児童会の先生もメンバーの中に入れてみてはどうか。(宮本委員)

・絶対にいじめを許さないという気持ちが大切。みんなで話し合うことが大切。子供一人一人の「関わる力」を向上させるように、学校だけでなく、保護者、PTA、放課後児童会など、みんなで子供と向き合っていくことが大切である。

○世代(低・中・高)で発達段階が異なるので、そのことを意識して取り組んでいく必要がある。(橋本憲幸委員)

(3) 地域見守り隊の取り組みについて

議長長の指示により、学校支援コーディネーターの矢野さんから説明があり、委員から、以下の発言があった。

○朝の方が多い。昼間は少ないのでは。(加藤委員)

- ・4, 5月は下校時刻に合わせて、1年生の親が見守ってくれていた。
- ・現状、付き添いの大人の人数は下校より、登校時刻の方が多い。

- ・情報交換の時に、お考えを記入してもらい、そこから広がっていけばよい。
- 見守り隊の視点を入れていただけるとよいのでは。(平野委員)
- ・気持ちよく、やってよかったと思えるように、徐々に段階を踏んで行っていく必要がある。持続可能な見守り隊になるとよい。
- ・PTAの危険箇所のマップを基に話し合うと効果的だと思う。(橋本かずよ委員)

(4) 学校評価アンケートについて

議長の指示により、主幹教諭の鈴木俊彰から説明があり、委員から、以下の発言があった。

- 学校評価アンケートは、親と子のコミュニケーションツールとして大切だと感じる。
(橋本かずよ委員)
- アンケートの集計は何か活用しているのか。(橋本憲幸委員)
 - ・学校評価の結果を受けて、次年度の学校経営方針につなげていく。
- 広沢小しか知らないのだから「特色ある」かどうかは分からないのではないかと。
 - ・職場とかで他の学校の様子も知るところがあるので、その中で広沢小学校の特色も分かるのではないかと。(橋本憲幸委員)
- 「子供たちにとって、より豊かな学びにつながっている」にしてはどうか。あくまでも子供が主体なので。(宮本委員)

その他報告事項等

- 学校支援コーディネーター矢野さんから、読み聞かせ・図書館ボランティア、大掃除ボランティアの取り組みについて説明があった。

連絡事項

- 教頭より以下の連絡があった。
 - ・自己評価実施要項についての説明
 - ・次回10月18日(水)学校運営協議会について